



北海道積丹町神威岬沖で引き揚げられた大砲の取得について

令和3年11月に、北海道積丹町神威岬の約30キロ沖合にて操業中の蟹かご漁船により、海軍の大砲が引き揚げられました。同大砲（砲架部分）に「呉海軍工廠」の表記を確認できたことから、大和ミュージアムが受入れを行うこととなりました。

1 大砲の概要

(1) 大砲引揚げの状況

令和3年11月11日（木）に、江差漁協所属「宝樹丸」がズワイガニ漁（底引き）を実施していたところ、網に対象物が掛かっていた。

(2) 大砲の状況

寸法：全長約3.2m（砲身：約2m） 全幅：約40cm

銘板に「呉海軍工廠四十口径一号三吋砲改筐砲架 呉三三九号Ⅱ 第七〇五号 明治三十九年」と記載あり。

(3) 現在の保管場所

江差港マリーナ艇庫（北海道檜山郡江差町字姥神町1-10）

(4) 売買契約の締結

当該資料は、国の財産として北海道財務局が引受け、処理を行うことになったため、財務省の規定に基づき、令和5年5月22日（月）に売買契約を締結しました。

2 引渡し日時

令和5年6月8日（木）13：30～ 江差港マリーナ艇庫

この大砲の引き渡し時には、呉市職員が同席し、財務局函館財務事務所がプレス対応を行います。

3 到着予定日時

令和5年6月12日（月）10：00頃 大和ミュージアムにおいて検査作業

※取材をご希望の場合、事前に学芸課までご連絡ください。

4 保管先

築地倉庫（呉市築地町6-4）

5 参考

北海道財務局函館財務事務所総務課

Tel:0138-47-8445

Mail:hakodate-soumu@hk.lfb-mof.go.jp